

平成三十二年亥年

新年明けましておめでとうございませす



浦白町長
齋藤 純雄

賀 年 19

町民の皆様には、お元気に新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は町政の推進に対し、格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、北海道命名150年というお祝いの節目の年を迎え、オール北海道としてひとつになつて、更なる飛躍に大きく羽ばたく年でありまし

たが、天変地異が激しく、6月の低温と日照不足など天候不順によつて、基幹産業の農業では、水稲が8年ぶりの不作となり、ほぼすべての作物が不良となりました。

また、台風や9月に発生した震度7の大地震によつて、北海道全体が2日間停電となる『ブラックアウト』になり、住民生活はもちろん、観光客の多くがキャンセルするなど、北海道経済が大打

撃を受けました。本当につらく厳しい1年となつたところでありませす。一方、世界に目を向けると、米国トランプ大統領にかき回され、世界中が混乱した1年でした。

遠い昔、未開の大地に開墾の鋤を入れた先人の熱き想いを胸に、そして開拓先人の苦勞に心より感謝しながら、人口減少、少子化など厳しさが増す時代ですが、地方創生、ふるさと再生めざして、議会をはじめ、職員一丸となつて、未来に活力ある町づくりへと一層努力して取り組んでまいりますので、町民の皆様の深いご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、どんな年号になるのか心待ちにしながら、2019年が、皆様にとつて良い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

世界が驚いた北朝鮮との会談から非核化の道を模索、また、難民の移入阻止、サウジアラビア問題、中国との貿易戦争など、自国保護主義による独断の政策が一層目立ち、世界中が振り回されました。今年こそ融和のある、争いのない世界であることを強く望んでいます。

さて今年、浦白町は明治32年7月15日に月形村から分村してから120年の節目を迎えます。

20年の節目を迎えます。

2019年が、皆様にとつて良い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

国民健康保険税は納期限内に必ず納めましよう!!



謹 新 20

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様にはご健勝で新年を迎えられ、謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年を振り返ってみますと、近年の気候変動により台風が何度も日本に上陸し、西日本を中心に大雨による河川の氾濫、水害、土砂災害が発生し、多大な被害を受けたところとあります。

北海道では9月6日早朝、胆振地方東部を震源とした震度7の大地震が発生し、厚真町を中心に大規模な土砂崩れが起き、44名が犠牲となりました。被害にあわれた方々にお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、復旧・復興が一刻も早く進みますことを心より願うところであります。

この地震により北海道電力のすべての発電所が停止し、経験したことのない長時間のブラックアウトとなりました。浦臼町でも約2日間、電気のない生活を余儀なくされ、日常生活においていかに電気に頼っていたかを実感し、個々の対応、行政の対策をどうするべきか考えさせられる災害となりました。

基幹産業の農業では、6月、7月上旬の低温、日照不足の影響により、米、麦、ソバはもちろん、野菜、果菜類等が全般的に不良で、特に米の収穫量は指数で90%に届かず、品質も悪く、経営的に大変な年でありました。議会関係では、議会活性化、議員のなり手不足等の問題解決に向け、平成28年より議会改革を推進し、町民の皆さんとの対話の場を設け、各団体・町内会との懇話会を開催し、多くの意見、提言をいただきました。それらの意見をとりまとめ、議員間で協議・議論を重ね、平成31年に控える統一地方選挙後の議会運営の方向性について全議員

の合意形成がなされ、12月の定例会で条例改正を提案、議決されました。これからの議会活動にも関心を寄せていただき、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

今年5月1日より元号が「平成」より新しく変わる年となります。浦臼町でも少子高齢化・人口減少が進む中で、何をすれば基礎自治体として継続していけるのか、町民の総意で知恵を出し、行政・議会がそれぞれの役割をはたしていかなければと思います。

結びに、皆様のご健勝で、日々充実した年になりますようお祈り申し上げます。

ゴミは、分別して出しましょう!!